

HIVとエイズ

エイズは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって起こる病気ですが、HIV感染=エイズということではありません。HIVに感染すると、自覚症状のない時期が数年続き、さらに進行すると、病気がたたかう抵抗力(免疫)が低下し、本来なら自分の力でおさえることのできる病気(日和見感染症)などを発症するようになってしまいます。この状態が「エイズ」です。

感染経路と予防
HIVは、性行為による感染、血液を介しての感染、母親から赤ちゃんへの母子感染の3つの経路で感染しますが、HIVの感染力は弱く、性行為以外の社会生活の中でうつることはまずありません。そのため、性行為ではコンドームを正しく使用することが大切です。コンドームの正しい使用はHIVにかぎらず、梅毒やクラミジアなどの性感染症の予防にも有効な手段です。

チャ〜かんじゅう 沖縄!

長春世界一を復活させよう

vol.20

12月1日は世界エイズデー
— AIDS IS NOT OVER だから、ここから —

沖縄県の現状

沖縄県は、全国的にみてもHIV/AIDSの報告数が多い地域です。平成26年の沖縄県内の新規HIV/AIDS報告数は計33例(HIV感染者22例・エイズ患者11例)で、昭和62年の統計開始以来、過去最多となり、累積報告数は290例(HIV感染者187例・エイズ患者103例)となっています。特に若い世代(20〜30代)の報告が多くみられます。また、過去5年間で、診断時に既にエイズを発症している県内の患者の割合は平均35%で、全国の30%より5ポイント高くなっており、HIV抗体検査の遅れが推察されます。

感染経路と予防

検査を受けましょう
各保健所では、無料・匿名でHIV検査・相談を行っています。少しでも感染の疑いがある場合は検査を受けましょう。
治療薬の進歩により、エイズは現在、コントロールできる病気になりました。検査の結果、たとえHIVに感染していても、早期に発見し適切な治療を始めれば、エイズの発症を回避することができます。
各保健所では、結果がすぐわかる検査(即日検査)を行っています。また、中部保健所や那覇市保健所では夜間検査も行い、個人のプライバシーにも配慮し、みなさんが検査を受けやすい体制をとっています。簡単な検査ですので、安心して受けてください。

保健所名	電話番号	検査スケジュール		
		即日	通常	夜間
北部保健所	0980-52-5219	火・木	—	—
中部保健所	098-938-9701	火・木	—	第3水曜
南部保健所	098-889-6591	火・木(午前)	—	—
那覇市保健所	098-853-7971	月・水・金	—	第1水曜
宮古保健所	0980-73-5074	火・木	—	—
八重山保健所	0980-82-4891	火・木	金	—

お問い合わせ
県健康長寿課
電話: 098-866-2209

広告



平成27年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、平成27年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催し、受賞者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった10名の方々に翁長知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



●地方自治部門
仲村 正治 氏(84歳)

那覇市議会議員、沖縄県議会議員として地方自治の進展に尽力し、また、永年にわたり衆議院議員として、国政を通じて沖縄県の振興発展及び県民福祉の向上に貢献した。



●文化・学術部門
茅原 南龍 氏(76歳)

永年にわたり書家として多くの優れた作品を制作するとともに、書道団体を主宰して後進の指導に尽力し、また、沖縄県書道美術振興会理事長を務めるなど、沖縄県の書道文化の普及発展に貢献した。



●伝統芸能・工芸部門
祝嶺 恭子 氏(78歳)

染織家として多くの優れた作品を制作するとともに、沖縄県立首里高等学校及び沖縄県立芸術大学において伝統工芸の担い手を育成し、また、琉球染織物の調査研究、復元にも尽力するなど、沖縄県の伝統工芸の保存、発展に貢献した。



●産業振興部門
城間 勇吉 氏(88歳)

沖縄県土木建築部長、沖縄県議会議員として県勢の発展に尽力するとともに、社団法人沖縄県建築士会会長を務めるなど、建築士の社会的地位の向上及び沖縄県の振興発展に貢献した。



●環境保全部門
香村 眞徳 氏(82歳)

永年にわたり沖縄の藻類研究に携わり、希少野生動植物種の保護に尽力するとともに、沖縄県自然環境保全審議会会長を務めるなど、沖縄県の環境保全の推進に貢献した。



●教育部門
池田 光男 氏(85歳)

沖縄県企画開発部長等の要職にあって、沖縄県の振興発展に尽力するとともに、沖縄県教育委員会教育長、一般財団法人沖縄県私学教育振興会理事長を務めるなど、沖縄県の教育及び人材育成に貢献した。



●伝統芸能・工芸部門
玉城 節子 氏(74歳)

永年にわたり琉球舞踊家として県内はもとより県外、海外において活躍するとともに、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者、沖縄芸能連盟会長として、沖縄県の伝統芸能の普及発展、継承に貢献した。



●社会福祉部門
稲富 洋明 氏(79歳)

永年にわたり精神科医として精神保健医療の向上に寄与するとともに、南部地区医師会副会長、沖縄県医師会会長を務めるなど、沖縄県の地域保健医療及び福祉の充実発展に貢献した。



●農林水産部門
知念 政孝 氏(80歳)

沖縄県信用農業協同組合連合会代表理事会長等の要職を歴任し、農協組織の事業改革及び経営改善に取り組むとともに、地域の農業振興に尽力するなど、沖縄県の農業の発展に貢献した。



●社会貢献部門
阿嘉 宗徹 氏(85歳)

戦後の沖縄において、左官業の組織化を図り、沖縄県左官業組合連合会初代会長として左官業の社会的地位の向上及び人材の育成に尽力し、沖縄県の振興発展に貢献した。

お問い合わせ

県秘書課 電話:098-866-2080 FAX:098-860-1453